

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和4年第25週の発生動向

トピックス

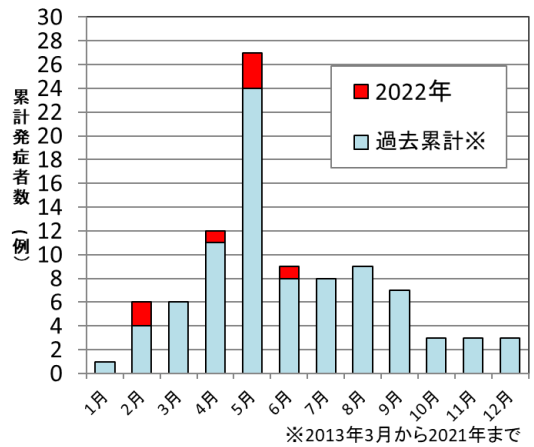
・今年7例目となる重症熱性血小板減少症候群（SFTS）（全数報告の感染症）の報告が宮崎市保健所管内からあった。患者は80歳代の女性で、ダニの刺し口は確認できなかった。また、6月中旬に発症し、6月下旬に死亡した。報告数が多かった昨年（13例）の25週時点（10例）と比較すると少ない報告数となっているが、届出時点で死亡が確認されたのは今年2例目であり、昨年（0例）より多くなっている。

また、届出が開始されて以降の県内での累積報告数は、累計94例となった。

県内のSFTS 年齢別報告数(届出開始以降)

20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代
1	1	2	3	22	37	23	5

県内のSFTS月別発症者数(届出開始以降)



・新型コロナウイルス感染症(新型インフルエンザ等感染症)の報告が1,332例あり、2022年の累積報告数は51,675例となった。

全数報告の感染症 (25週までに新たに届出のあったもの)

- 1類感染症：報告なし。2類感染症：結核2例。3類感染症：腸管出血性大腸菌感染症1例。
- 4類感染症：重症熱性血小板減少症候群1例。
- 5類感染症：カルバペネム耐性腸内細菌感染症1例、クリプトスポリジウム症2例、クロイツフェルト・ヤコブ病1例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	90歳代	女	肺結核	痰
		都城	70歳代	男	肺結核	咳
3類	腸管出血性大腸菌感染症	宮崎市	30歳代	女	無症状病原体保有者	なし、O血清群不明(VT1)
4類	重症熱性血小板減少症候群	宮崎市	80歳代	女	—	神経症状、食欲不振、全身倦怠感、血小板減少、リンパ節腫脹、紫斑
5類	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	宮崎市	90歳代	男	—	菌血症、胆管炎
	クリプトスポリジウム症	高鍋	10歳代	男	—	腹痛、下痢、発熱、嘔吐、吐き気
			20歳代	男	—	腹痛、下痢
クロイツフェルト・ヤコブ病	宮崎市	80歳代	女	古典型クロイツフェルト・ヤコブ病(CJD) 診断の確実度:ほぼ確実	進行性認知症、ミオクローヌス、無動性無言状態	

□ **新型インフルエンザ等感染症（25週に新たに届出のあったもの）**

○新型コロナウイルス感染症 1,332例：保健所、年齢別報告数及び主な症状は表のとおりであった。

居住地 保健所	報告数	年齢群											症状
		10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代	100歳代	
宮崎市	583例	147	129	52	96	92	28	22	9	7	1	-	発熱、 咳、 頭痛、 全身倦怠感、 咽頭痛等
都城	313例	67	59	26	67	48	15	18	9	4	-	-	
延岡	80例	14	15	12	13	11	6	4	4	1	-	-	
日南	50例	4	25	1	4	4	4	4	1	2	1	-	
小林	59例	19	10	5	8	6	-	5	4	1	1	-	
高鍋	95例	27	34	5	7	9	1	2	6	2	1	1	
高千穂	17例	1	-	-	-	-	3	6	6	1	-	-	
日向	97例	19	15	8	15	19	8	8	3	-	2	-	
中央	27例	10	5	1	3	5	1	2	-	-	-	-	
県外	11例	2	2	3	2	-	-	1	1	-	-	-	

□ **定点把握の対象となる5類感染症**

・定点医療機関からの報告総数は301人(定点当たり8.4)で、前週比93%と減少した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症とA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は感染性胃腸炎であった。

★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【RSウイルス感染症】

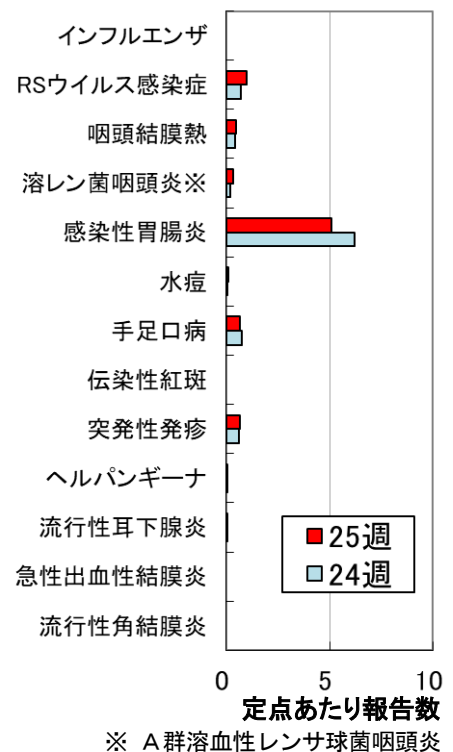
報告数は36人(1.0)で、前週比144%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.56)の約1.8倍であった。高千穂(5.0)、日向(4.0)、延岡(1.5)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から4歳が全体の約8割を占めた。

【感染性胃腸炎】

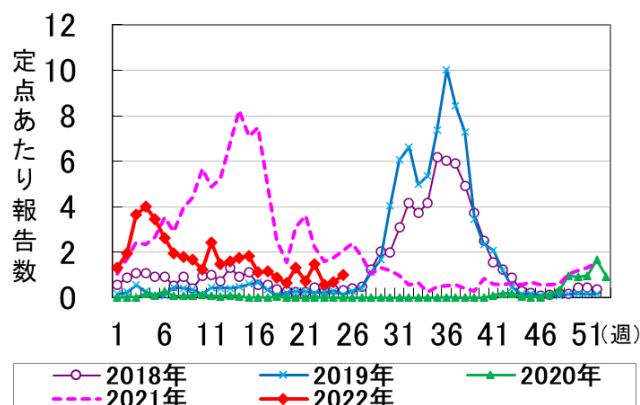
報告数は183人(5.1)で、前週比82%と減少した。例年同時期の定点当たり平均値*(6.6)の約0.8倍であった。小林(12.3)、日南(9.0)、中央(6.0)保健所からの報告が多く、年齢群別は1歳から3歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

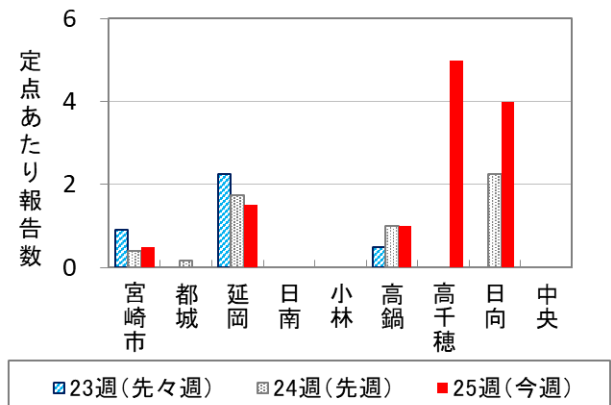
《前週との比較》



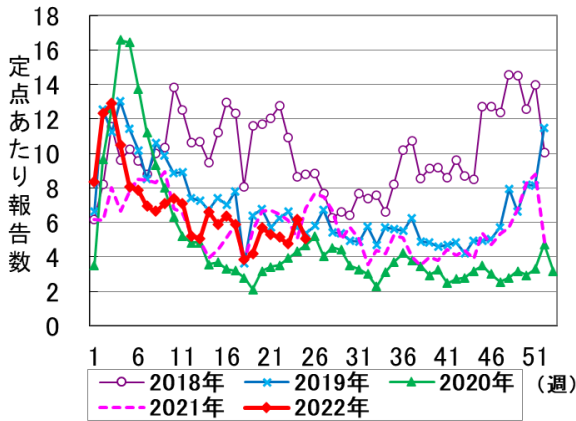
RSウイルス感染症 発生状況



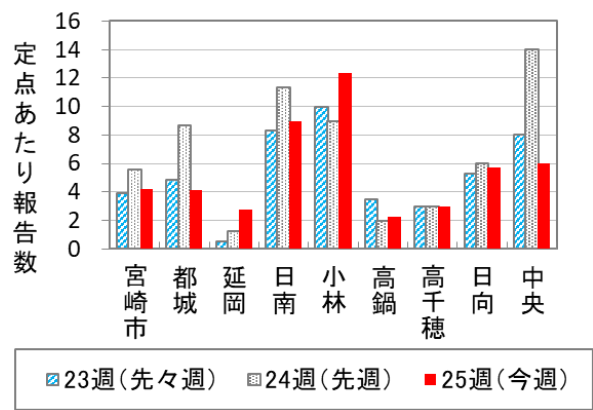
RSウイルス感染症 保健所別推移(3週分)



感染性胃腸炎 発生状況



感染性胃腸炎 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★ なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患★ なし

全国 2022 年第 24 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	274 例				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	81 例				
4類感染症	E型肝炎	8 例	A型肝炎	4 例	重症熱性血小板減少症候群	3 例
	つつが虫病	3 例	日本紅斑熱	17 例	マラリア	2 例
	レジオネラ症	52 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	5 例	ウイルス性肝炎	6 例	カルバペネム耐性腸内細菌感染症	23 例
	急性弛緩性麻痺	2 例	急性脳炎	7 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	6 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	11 例	後天性免疫不全症候群	14 例	ジアルジア症	1 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症	11 例	水痘(入院例)	6 例
	梅毒	167 例	播種性クリプトコックス症	3 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	4 例
	百日咳	11 例				

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数は前週比 107%と増加した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はRSウイルス感染症、手足口病及びヘルパンギーナで、減少した主な疾患は流行性耳下腺炎であった。

RSウイルス感染症の報告数は1,346人(0.43)で前週比159%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.81)の約0.5倍であった。岐阜県(2.1)、島根県(1.6)、愛知県(1.5)からの報告が多く、年齢群別では6ヵ月から3歳が全体の約8割を占めた。

感染性胃腸炎の報告数は17,970人(5.7)で前週比106%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(4.8)の約1.2倍であった。大分県(9.3)、福岡県(7.9)、東京都(7.5)からの報告が多く、年齢群別では1歳から4歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均

宮崎県 感染症情報

(71定点医療機関)

2022年 第25週(06月20日～06月26日)

疾病名	第24週	第25週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数 定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス	報告数	25	36	5	6			4	5	16	
感染症	定点当り	0.69	1.00	0.50	0.00	1.50	0.00	0.00	1.00	5.00	4.00
咽頭結膜熱	報告数	15	17	3	3	5	3	2		1	
	定点当り	0.42	0.47	0.30	0.50	1.25	1.00	0.00	0.50	0.00	0.25
A群溶血性	報告数	7	12	6			2	2		2	
レンサ球菌咽頭炎	定点当り	0.19	0.33	0.60	0.00	0.00	0.67	0.00	0.50	0.00	0.50
感染性胃腸炎	報告数	223	183	42	25	11	27	37	9	3	23
	定点当り	6.19	5.08	4.20	4.17	2.75	9.00	12.33	2.25	3.00	5.75
水痘	報告数	1	4	1			1	2			
	定点当り	0.03	0.11	0.10	0.00	0.00	0.33	0.67	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数	27	23	2	17		1			2	1
	定点当り	0.75	0.64	0.20	2.83	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.50
伝染性紅斑	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	22	23	12	4	2		2	2		1
	定点当り	0.61	0.64	1.20	0.67	0.50	0.00	0.67	0.50	0.00	0.25
ヘルパンギーナ	報告数	2	2					1	1		
	定点当り	0.06	0.06	0.00	0.00	0.00	0.00	0.33	0.25	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	1	1	1							
	定点当り	0.03	0.03	0.10	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
流行性角結膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00					
細菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
無菌性髄膜炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
マイコプラズマ肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
クラミジア肺炎	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数										
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00

インフルエンザ定点:58、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2022年 第1週～25週)

2類感染症	結核	54例(2)		
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	5例(1)		
4類感染症	E型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	7例(1)
	レジオネラ症	1例		つつが虫病
5類感染症	アメーバ赤痢	1例	ウイルス性肝炎	3例
	急性脳炎	2例	クリプトスポリジウム症	2例(2)
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1例	後天性免疫不全症候群	2例
	水痘(入院例)	2例	梅毒	36例
	破傷風	4例	百日咳	8例
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	51675例(1332)		

()内は今週届出分、再掲